

特定非営利活動法人 コミュニティラジオ京都

(JOZZ7BO-FM コミュニティラジオきょうとエフエム)

第19回 放送番組審議会 議事録

日 時 平成30年 1月25日(木) 18:30～19:30
場 所 京都市北区役所 3階 応接室
委員総数 7名 (出席者数 4名 欠席者数 3名)
出席委員 谷口みゆき 片木健二 森 重樹 高奥英路
欠席委員 山口琢也 伴戸恒夫 河村春奈
放送局 村井清和(放送局長・番組審議会事務局)
時岡浩二(NPO法人 事務局長)

1 報 告

- ① 北区役所関連新番組(「ラジオを活用した中学生や地域の魅力紹介」1月22日から開始、月曜日17時00分～17時52分のSPLASH MIX KYOTOにおける1つのコーナー枠で放送)の概要説明

2 番組審議

①対象番組

番組名 「CAMPUS MIX KYOTO」(京都産業大学枠)
審議対象放送日等 平成30年1月15日(月)19時から放送分
構成・形式 オープニング、井出町応援隊(京都府南部の綴喜郡)、文化団体連盟(大学内ギタークラブ)、京都マラソン実行委員会クラス(大学内有志のサポート組織)についての活動報告(京都産業大学 学生による報告形式)

②審議方法

放送(約30分間分)を聴取する方法により、①番組構成、②取扱い題材・話題性、③伝達性、④放送番組基準等の適合性、について各委員の意見をいただいた。

③各委員から出された意見まとめ

(井出町応援隊)

- ・(京都府南部の)井出町PRと(地域放送局としての)北・上京区との地域性が薄い。
- ・井出町枠の時間が長い、コミラジとしての扱いはどうなのかなと感じた。
- ・北区・上京区なのになぜ井出町なのかと思う。同じPRをするなら、そこに行きたいと思わせてほしい。

- ・京産大が井出町を取り上げているが、北・上京の住民が行ってほしいと思っているのか分からない。単なる活動報告になっていたのが残念。

(文化団体連盟・大学ギタークラブ)

- ・大学のギタークラブの紹介かなと思った。ここの語り口調はよかった。
- ・ギタークラブの特徴の説明はあったが、地域に出て演奏するなどの話題をからめればよかったが、そこはなかったのが残念。

(京都マラソン実行委員会クラス)

- ・京都マラソンについては地域性のものなのでよかったと思う。ただ、話のシナリオ（原稿）は有るようだが、話し言葉（しゃべり）が棒読みで不自然。
- ・楽しそうではなかった。リスナーはどう思ったかなと感じた。

(その他の意見)

- ・放送の3組（コーナー）のセレクトは大学に任せてあるようだが、放送局としての事前チェックが必要ではないのか。
- ・3組がばらばらの番組。この番組の旗振り役（パーソナリティ）がうまく進行した方が良くなる。
- ・聞いている方々が、大学生がごちゃごちゃ話をしているような感じや学生が自分達が好き勝手にやっているという感じを持っている意見も多い。大学当局も考えて欲しい。
- ・審議会は番組が流れてからの意見しか言えなく、流れる（放送する）前に（番組編成部門が）これまでの審議会の意見をよく聞いて（考えて）欲しい。又、理事の方も審議会の意見をよく聞いてほしい。
- ・学生がやっているのはよいが地域とのつながりに重点が必要。
- ・初め（放送を開始した頃）は学生の自由な話し方でよいと思っていたが、地域の人たちに聞いてもらう方法を考えてほしい。
- ・地域にとってPRする放送が無少ないため、この改善をしてほしい。
- ・番組の編成がどうやっているのか分からないが、地域に入り、地域の人たちが聞きたいと思うような特色のある番組作りをしてほしい。

3 総括

今回審議対象となったものについては、当法人が定める放送番組の基準の「社会の公安及び善良な風俗に反する放送は行わない」をはじめとする各基準に照らし合わせてみても、これに反するものは認められなかった。

4 審議会議事録の開示

平成30年2月16日以降、法人事務局で閲覧できるようにした。